

米 国 の

2017年8月 の

ISM製造業景況感指数

です

58.8

ISM(全米供給管理協会)が1日に発表した2017年8月の製造業景況感指数は58.8と、市場予想の56.5を大きく上回りました。前月から2.5ポイント上昇し、2011年4月以来、約6年ぶりの高水準となりました。

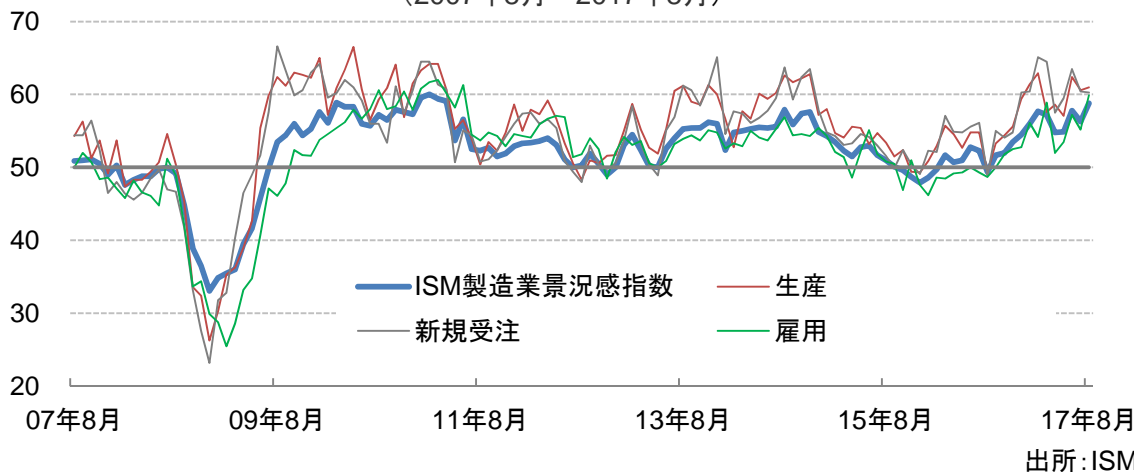
ISM製造業景況感指数は、米国の非営利団体であるISMが、新規受注や生産、雇用など10項目について、製造業300社以上の購買責任者を対象に行なうアンケート調査の結果をもとに作成しています。50を境として、上回ると景気拡大、下回ると景気後退を示唆しています。毎月第1営業日に前月の結果が発表され、主要指標の中でも速報性があることなどから、景気の先行指標とされており、市場の注目度の高い指標です。

今回の内訳をみると、指数を構成する個別項目のうち「新規受注」は前月から小幅に低下したものの、「雇用」が前月から4.7ポイント上昇し、全体を押し上げたほか、「生産」は堅調さを示す目安とされる60を3ヵ月連続で上回りました。

同日に発表された8月の雇用統計の内容は市場予想を下回ったものの、長期的には高水準の雇用拡大ペースが続いています。また、今回の景況感指数の大幅な上昇に加えて、4-6月期のGDP(国内総生産)成長率改定値が速報値から年率換算で0.4ポイント上方修正されるなど、足元で米国経済の堅調さを示す指標の発表が続いています。こうしたことから、9月19~20日に開催されるFOMC(米連邦公開市場委員会)では、FRB(米連邦準備理事会)の保有資産の圧縮開始が決定されると市場では予想されています。

ISM製造業景況感指数の推移

(2007年8月~2017年8月)



出所: ISM

※上記は過去のものであり、将来を約束するものではありません。

■当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。